

## プログラム

### 【会長講演】

11月29日（土） 9時10分～9時40分（第1会場 メインホール）  
座長：武田 雅俊（大阪大学大学院医学系研究科精神医学教室）

#### 神経細胞と脳の炎症

秋山 治彦  
東京都医学総合研究所

### 【特別講演】

#### 特別講演 1

11月30日（日） 13時20分～14時20分（第1会場 メインホール）  
座長：森 啓（大阪市立大学大学院老年医科学大講座脳神経学）

#### 社会で支える認知症

三浦 公嗣  
厚生労働省老健局（局長）

#### 特別講演 2

11月30日（日） 14時20分～15時20分（第1会場 メインホール）  
座長：秋山 治彦（東京都医学総合研究所）

#### 認知症の脳を観る

高橋 均  
新潟大学（副学長）・新潟大学脳研究所教授

### 【特別企画】

#### 特別企画 1

11月29日（土） 16時10分～17時10分（第1会場 メインホール）  
座長：岩坪 威（東京大学大学院医学系研究科神経病理学分野）

#### 認知症研究における国際連携

原山 優子  
総合科学技術・イノベーション会議（常勤議員）

## 特別企画 2

12月1日(月) 10時30分～11時30分 (第1会場 メインホール)

座長: 井関 栄三 (順天堂大学医学部附属順天堂東京江東高齢者医療センター  
メンタルクリニック)

### レビー小体型認知症の発見から現在まで

小阪 憲司

クリニック医庵センター南

## 【学術教育講演】

### 学術教育講演 1

11月29日(土) 9時50分～10時50分 (第2会場 501)

座長: 本間 昭 (認知症介護研究・研修東京センター)

### 若年性認知症と生きる人の臨床 — 診断, 告知, 治療, 就労から社会資源まで —

新井 平伊

順天堂大学大学院精神行動科学

### 学術教育講演 2

11月29日(土) 10時50分～11時50分 (第2会場 501)

座長: 鳥羽 研二 (国立長寿医療研究センター)

### 認知症の人を支える社会制度

栗田 主一

東京都健康長寿医療センター研究所

### 学術教育講演 3

11月29日(土) 13時00分～14時00分 (第2会場 501)

座長: 藤本 直規 (藤本クリニック)

### 認知症の臨床医療 — 観察される症状, 体験する症状 —

斎藤 正彦

東京都立松沢病院

### 学術教育講演 4

11月29日(土) 14時00分～15時00分 (第2会場 501)

座長: 池田 研二 (香川大学医学部炎症病理学教室)

### 高齢者のうつ病

天野 直二

信州大学医学部精神医学教室

### 学術教育講演 5

11月29日(土) 15時10分～16時10分 (第2会場 501)

座長: 下濱 俊 (札幌医科大学神経内科学)

#### アルツハイマー病予防の可能性 — 大規模介入研究の現在

東海林 幹夫

弘前大学大学院医学研究科脳神経内科学

### 学術教育講演 6

11月29日(土) 16時10分～17時10分 (第2会場 501)

座長: 中島 健二 (鳥取大学医学部脳神経内科)

#### プリオン病 UPDATE

山田 正仁

金沢大学大学院脳老化・神経病態学 (神経内科学)

### 学術教育講演 7

12月1日(月) 10時30分～11時30分 (第3会場 502)

座長: 森 悦朗 (東北大学大学院医学系研究科・医学部高次機能障害学分野)

#### 前頭側頭葉変性症

池田 学

熊本大学大学院生命科学研究部神経精神医学分野

### 学術教育講演 8

12月1日(月) 10時30分～11時30分 (第4会場 503)

座長: 福山 秀直 (京都大学医学研究科附属脳機能総合研究センター)

#### ドパミントランスポータイメージング — 基礎から臨床まで —

松田 博史

国立精神・神経医療研究センター脳病態統合イメージングセンター

### シンポジウム 1 「認知症研究における Cell Biology I: リソソーム・オートファジー」

11月29日(土) 9時50分～11時50分 (第3会場 502)

オーガナイザー/座長: 岩田 修永 (長崎大学大学院医歯薬学総合研究科  
ゲノム創薬学)

オーガナイザー/座長: 道川 誠 (名古屋市立大学医学研究科病態生化学)

#### 1. オートファジーによる生体防御

新潟大学医学部生化学第一 小松 雅明

#### 2. Alzheimer's disease A $\beta$ secretion and plaque formation depend on autophagy

理化学研究所脳科学総合研究センター神経蛋白質制御研究チーム パー ニルソン

#### 3. アルツハイマー病 iPS 細胞由来神経細胞のオートファジー関連分子の解析

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科薬学系 城谷 圭朗

4. オートファジー関連因子 p62 のタウ病態への関与

放射線医学総合研究所分子イメージング研究センター 小野麻衣子

シンポジウム 2 「異常タンパク質のプリオン様性質と病理進展」

11月29日(土) 9時50分~11時50分 (第4会場 503)

オーガナイザー/座長: 長谷川成人 (東京都医学総合研究所認知症・高次脳機能研究分野)

オーガナイザー/座長: 和泉 唯信 (徳島大学医学部臨床神経科学分野)

1. 筋萎縮性側索硬化症の発症・進展様式

徳島大学医学部臨床神経科学分野 和泉 唯信

2. プリオン病の基礎とプリオンの伝播

東北大学医学系研究科病態神経学 北本 哲之

3. 認知症関連タンパク質のプリオン様性質と細胞モデル

東京都医学総合研究所認知症プロジェクト 野中 隆

4. 脊髄および一次感覚神経系におけるレビー小体関連  $\alpha$  シヌクレイオパチーの伝播

東京都健康長寿医療センター高齢者ブレインバンク 隅蔵 大幸

5.  $\alpha$  シヌクレイン, タウの実験モデル

Medical Research Council, Laboratory of Molecular Biology, Neurobiology Division 鈴掛 (増田) 雅美

6. 家族性アミロイドポリニューロパチーの病態解明と新規治療法の開発

信州大学医学部脳神経内科, リウマチ・膠原病内科 関島 良樹

シンポジウム 3 「遺伝性血管性認知症からみた認知症の分子機構」

11月29日(土) 9時50分~11時50分 (第5会場 303+304)

オーガナイザー/座長: 富本 秀和 (三重大学神経内科)

オーガナイザー/座長: 山田 正仁 (金沢大学神経内科)

1. CADASIL

京都府立医科大学神経内科 水野 敏樹

2. 脳の微小循環維持シグナルと血管性認知症: 遺伝性脳小血管病から

新潟大学脳研究所 小野寺 理

3. トランスサイレチン変異が引き起こすユニークなアミロイドアンギオパチー

熊本大学大学院生命科学研究所神経内科学分野 安東由喜雄

4. アミロイド  $\beta$  の脳外排出と末梢代謝

国立循環器病研究センター脳神経内科 猪原 匡史

シンポジウム 4 「認知症研究における Cell Biology II: 細胞内輸送」

11月29日(土) 13時00分~15時00分 (第3会場 502)

オーガナイザー/座長: 鈴木 利治 (北海道大学大学院薬学研究院神経科学)

オーガナイザー/座長: 樋口 真人 (放射線医学総合研究所  
分子イメージング研究センター)

1. リサイクリングエンドソームの新機能: 細胞膜 — ゴルジ体 物質輸送の中継地点

東京大学大学院薬学系研究科疾患細胞生物学 田口 友彦

2. Traffic Jam 仮説: 老年性エンドサイトーシス障害とアルツハイマー病態との関係

国立長寿医療研究センター認知症先進医療開発センターアルツハイマー病研究部病因遺伝子研究室  
木村 展之

3. 神経細胞内の APP 軸索順行輸送制御機構と APP 代謝

北海道大学大学院薬学研究院神経科学 鈴木 利治

4. 遺伝子研究からみえてきたこと：アルツハイマー病理形成の原因としての細胞内輸送障害

大阪大学医学部精神医学教室 森原 剛史

シンポジウム 5 「認知症患者の身体合併症」

11月29日(土) 13時00分～15時00分 (第4会場 503)

オーガナイザー／座長：三木 隆己 (泉大津市立病院)

オーガナイザー／座長：秋下 雅弘 (東京大学大学院医学系研究科加齢医学講座)

1. 認知症と肺炎

東京大学大学院医学系研究科加齢医学講座 山口 泰弘

2. 生活習慣病との関連

東京医科大学高齢診療科 羽生 春夫

3. 転倒・骨折

杏林大学医学部高齢医学 神崎 恒一

4. 認知症における低栄養の問題

名古屋大学大学院医学系研究科地域在宅医療学老年科学 葛谷 雅文

5. 慢性腎臓病・透析患者における認知機能低下

大阪市立大学大学院医学研究科老年血管病態学 庄司 哲雄

シンポジウム 6 「核酸創薬とドラッグデリバリーシステムの革新による  
認知症の遺伝子治療への道」

11月29日(土) 15時10分～17時10分 (第3会場 502)

オーガナイザー／座長：樋口 真人 (放射線医学総合研究所

分子イメージング研究センター)

オーガナイザー／座長：永井 義隆 (国立精神・神経医療研究センター

神経研究所疾病研究第四部)

1. リガンド搭載高分子ミセル型ナノキャリアを用いた組織特異的核酸デリバリー

東京大学大学院医学系研究科 宮田完二郎

2. 革新的新規核酸医薬による神経疾患の治療

東京医科歯科大学脳神経機能病態学分野 横田 隆徳

3. AAV ベクターを用いたアルツハイマー病防御遺伝子補充療法

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 岩田 修永

4. センダイウイルスベクターによる遺伝子医薬 (ワクチン)・細胞治療の推進

ダイナベック株式会社 井上 誠

5. 多機能性エンベロープ型ナノ構造体による遺伝子デリバリーとナノ医療への展開

北海道大学大学院薬学研究院 原島 秀吉

### シンポジウム 7 「認知症医療と脳神経外科」

11月29日(土) 15時10分～17時10分 (第4会場 503)

オーガナイザー／座長：堀 智勝 (新百合ヶ丘総合病院脳神経外科)

オーガナイザー／座長：河本 圭司 (東大阪山路病院)

1. 脳神経外科医による認知症診療 — その意義と問題点  
社会医療法人愛仁会高槻病院 櫻 篤
2. 特発性正常圧水頭症における認知障害とその特徴  
音羽病院正常圧水頭症センター 石川 正恒
3. 特発性正常圧水頭症と海馬硬化症の神経病理  
秋田県立脳血管研究センター脳神経病理学研究部 宮田 元
4. 認知症診療における脳神経外科医の過去, 現在, 未来  
新百合ヶ丘総合病院脳神経外科 堀 智勝

### シンポジウム 8 「全身疾患と認知症」

11月29日(土) 15時10分～17時10分 (第5会場 303+304)

オーガナイザー／座長：田中 章景 (横浜市立大学神経内科)

オーガナイザー／座長：岩田 淳 (東京大学神経内科)

1. 糖尿病とアルツハイマー病  
大阪大学医学部臨床遺伝子治療学老年・腎臓内科学 里 直行
2. 糖尿病とアルツハイマー病：糖代謝異常が脳内インスリンシグナル異常を誘発するか？  
新潟大学脳研究所遺伝子機能解析学 池内 健
3. 高血圧と認知症 — レニン・アンジオテンシン系の役割  
愛媛大学大学院医学系研究科分子心血管生物・薬理学 堀内 正嗣
4. 運動・食事とアルツハイマー病の病態  
京都大学医学部人間健康科学科 木下 彩栄

### シンポジウム 9 「認知症初期集中支援チームの現状と課題」

11月30日(日) 10時10分～12時10分 (第1会場 メインホール)

オーガナイザー／座長：栗田 圭一 (東京都健康長寿医療センター)

オーガナイザー／座長：小田原俊成 (横浜市立大学附属市民総合医療センター  
精神医療センター)

1. 認知症初期集中支援チームとはなにか  
国立長寿医療研究センター 鷺見 幸彦
2. 多職種チームによる認知症初期集中支援の実際  
群馬医療福祉大学リハビリテーション学部 山口 智晴
3. チーム員としての医師の役割  
医療法人湖山荘あずま通りクリニック 小林 直人
4. 基礎的自治体における地域づくりと認知症初期集中支援チーム  
世田谷区高齢福祉部介護予防・地域支援課 高橋 裕子
5. 認知症初期集中支援チームの課題 — 神戸市の経験 —  
神戸学院大学総合リハビリテーション学部 前田 潔

## シンポジウム 10 「あらためて考えるタウの重要性」

11月30日（日） 10時10分～12時10分（第2会場 501）

オーガナイザー／座長：長谷川成人（東京都医学総合研究所認知症・高次脳機能研究分野）

オーガナイザー／座長：新井 哲明（筑波大学医学医療系臨床医学域精神医学）

1. 認知症性神経変性疾患におけるタウの重要性  
筑波大学医学医療系臨床医学域精神医学 新井 哲明
2. 神経病理と臨床症候の関連  
東京都健康長寿医療センター高齢者ブレインバンク 高尾 昌樹
3. 比較生物学的視点からみるβアミロイドと高リン酸化タウ沈着の関係  
東京大学大学院農学生命科学研究科獣医病理学研究室 チェンバーズ ジェームズ
4. リン酸化タウを標的とするタウオパチーの受動免疫療法  
大阪市立大学大学院医学研究科脳神経科学 富山 貴美
5. 認知症タウ病変のイメージング  
放射線医学総合研究所分子イメージング研究センター 樋口 真人
6. タウは治療標的として魅力的か？ タウ研究の課題，問題点は何か？  
東京都医学総合研究所認知症・高次脳機能分野 長谷川成人

## シンポジウム 11 「Aβ産生制御によるアルツハイマー病根本治療戦略の進歩」

11月30日（日） 10時10分～12時10分（第3会場 502）

オーガナイザー／座長：富田 泰輔（東京大学大学院薬学系研究科臨床薬学教室）

オーガナイザー／座長：大河内正康（大阪大学大学院医学系研究科精神医学教室）

1. αセクレターゼ活性化因子ナルディライジンのアルツハイマー病における意義  
京都大学大学院医学研究科循環器内科 西 英一郎
2. βセクレターゼ活性制御法 βセクレターゼ阻害剤の開発とアミロイドβ低下作用  
エーザイ・プロダクトクリエーション・システムズニューロサイエンス & ジェネラルメディスン創薬ユニット  
福嶋 達人
3. γセクレターゼの阻害と促進  
大阪大学大学院医学系研究科・精神医学教室 大河内正康
4. セクレターゼ活性制御によるアルツハイマー病に対する先制治療法の開発に向けて  
(2013年度学会賞受賞記念講演)  
東京大学大学院薬学系研究科臨床薬学教室 富田 泰輔

## シンポジウム 12 「パーキンソン病の認知障害をめぐって」

11月30日（日） 10時10分～12時10分（第4会場 503）

オーガナイザー／座長：吉井 文均（東海大学神経内科）

オーガナイザー／座長：田中 章景（横浜市立大学神経内科）

1. PD-MCIの病態と症候の特徴  
国家公務員共済組合連合会立川病院神経内科 太田 晃一
2. 早期診断のためのツールは何か適切か  
岡山旭東病院神経内科 柏原 健一
3. バイオマーカーの視点からPDの認知障害を考える  
金沢大学脳老化・神経病態学（神経内科） 小野賢二郎

4. パーキンソン病の嗅覚障害と認知症, そして治療介入

国立病院機構仙台西多賀病院 武田 篤

5. パーキンソン病の認知障害と脳深部刺激療法

田附興風会医学研究所北野病院脳神経外科 戸田 弘紀

シンポジウム 13 「RNA 病からみた認知症関連疾患」

12月1日(月) 12時40分~14時40分 (第2会場 501)

オーガナイザー/座長: 田中 章景 (横浜市立大学神経内科)

オーガナイザー/座長: 道勇 学 (愛知医科大学神経内科)

1. ALS/FTLD における RNA 代謝・スプライソソーム異常

名古屋大学環境医学研究所病態神経科学分野 山中 宏二

2. FUS からみた前頭側頭葉変性症 (FTLD) の RNA 病態

名古屋大学大学院医学系研究科神経内科 石垣 診祐

3. RNA 酸化傷害と変性性認知症

山梨大学医学部精神科 布村 明彦

4. C9orf72 遺伝子変異と前頭側頭葉変性症

横浜市立大学大学院医学研究科神経内科学・脳卒中医学 田中 章景

シンポジウム 14 高齢者のてんかんと認知記憶障害 — その診断・病的背景・治療 —

12月1日(月) 12時40分~14時40分 (第4会場 503)

オーガナイザー/座長: 平安 良雄 (横浜市立大学医学部精神医学)

オーガナイザー/座長: 河村 満 (昭和大学医学部内科学講座神経内科学部門)

1. 仮性認知症を呈した高齢発症てんかん

上善神経医院 伊藤ますみ

2. 当院メモリークリニックを受診したてんかん性記憶障害の検討 — 神経内科の立場から —

済生会横浜市東部病院脳神経センター神経内科 村松 和浩

3. 物忘れ外来受診者における temporal spike とその症状・治療について 精神科の立場から

横浜市総合保健医療センター 塩崎 一昌

4. 高齢者てんかんの発作症状と脳波所見

大宮西口メンタルクリニック 渡辺 雅子

5. 海馬硬化症について

国立精神・神経医療研究センター病院臨床検査部 齊藤 祐子

トピックス徹底討論 1 「高齢者における能力評価の課題」

12月1日(月) 12時40分~14時40分 (第1会場 メインホール)

オーガナイザー/座長: 三村 将 (慶應義塾大学医学部精神神経科学教室)

オーガナイザー/座長: 成本 迅 (京都府立医科大学大学院医学研究科精神機能病態学)

1. 日本における高齢者の意思決定能力評価の課題

京都府立医科大学大学院医学研究科精神機能病態学 成本 迅

2. 医療同意能力評価

京都府立医科大学大学院医学研究科精神機能病態学 加藤 佑佳

3. 財産管理能力評価

慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室 江口 洋子



4. 高齢者における運転能力評価

慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室 三村 將

5. 意思決定能力評価の法的側面

千葉大学法政経学部法政経学科 小賀野晶一

トピックス徹底討論 2 「若手研究者による認知症研究の新しい問題提起」

12月1日(月) 12時40分～14時40分 (第3会場 502)

オーガナイザー／座長：富田 泰輔 (東京大学大学院薬学系研究科臨床薬学教室)

オーガナイザー／座長：宮坂 知宏 (同志社大学生命医科学部医生命システム学科  
神経病理学)

1. 統合生物学的手法によるアルツハイマー病型神経細胞死の機序解明とその抑止法の開発

国立長寿医療研究センター認知症先進医療開発センターアルツハイマー病研究部 飯島 浩一

2. 神経活動依存的なタウの分泌

東京大学大学院医学系研究科 山田 薫

3. ニワトリと卵, 神経活動と Aβ 放出

新潟大学脳研究所生命科学リソース研究センター遺伝子機能解析学分野 春日 健作

4. 安静時 fMRI から見る認知症の病態生理

東京大学医学部神経内科 林 俊宏

5. タウイメージング PET トレーサーで見る蛋白質のコンフォメーション

東北大学加齢医学研究所ニューロ・イメージング研究 原田 龍一

Neuro CPC

12月1日(月) 10時30分～11時30分 (第2会場 501)

オーガナイザー／座長：村山 繁雄 (東京都健康長寿医療センター)

1. What is your diagnosis ?

東京都健康長寿医療センター神経内科 仙石 鍊平

2. アルツハイマー病と臨床診断されていた, 85歳女性認知症剖検例

国立精神・神経医療研究センター臨床検査部 齊藤 祐子

テクニカルプロGRESS MIBG 心筋シンチの標準化とそれに基づく DLB 診断

11月29日(土) 17時20分～18時20分 (第4会場 503)

オーガナイザー／座長：山田 正仁 (金沢大学神経内科)

1. 心筋 MIBG 検査における定量指標の標準化

金沢大学医学系核医学科 中嶋 憲一

2. <sup>123</sup>I-MIBG 心筋シンチによる DLB 診断: 検査の標準化に基づく全国多施設研究

独立行政法人国立病院機構北陸病院神経内科 吉田 光宏

ランチオンセミナー 1 認知症の本質を理解して穏やかな在宅生活を支える医療

11月29日(土) 12時00分～12時50分 (第1会場 メインホール)

共催：ヤンセンファーマ株式会社／武田薬品工業株式会社

座長：鳥羽 研二 ((独) 国立長寿医療研究センター総長)

演者：山口 晴保 (群馬大学大学院保健学研究科リハビリテーション学講座教授)

(概要) 認知症は、MMSE では測定できない「病識や心の理論の障害」が本質で、自尊心や役割の喪失、周囲の人との関係性の崩壊などの心理的困難も抱えている。従って、薬物による認知機能へのアプローチだけでなく、本人が日課や役割を持ち、関係性を修復し、生活障害を改善するリハを行い、穏やかな在宅生活の継続を支援する。

### ランチョンセミナー 2 認知症診療・研究における神経画像の可能性を考える — tau を中心に —

11月29日(土) 12時00分～12時50分 (第2会場 501)

共催：ノバルティス ファーマ株式会社

座長：東海林幹夫 (弘前大学大学院医学研究科脳神経内科学講座教授)

演者：古川 勝敏 (東北大学加齢医学研究所老年医学分野准教授)

(概要) 近年、認知症の診断においてバイオマーカーの進歩が目覚ましい。バイオマーカーは大きく (1) 体液の生化学マーカーと (2) 放射線を用いた画像の二つに分類される。画像については、2004年にアミロイドPETが開発され、2013年にタウPETの報告がなされており、今後、更なる認知症の画像診断の発展に期待が寄せられている。

### ランチョンセミナー 3 新規骨粗鬆症治療薬の使い分けと課題

11月29日(土) 12時00分～12時50分 (第3会場 502)

共催：第一三共株式会社

座長：本間 昭 (認知症介護研究・研修東京センターセンター長)

演者：萩野 浩 (鳥取大学医学部保健学科教授)

(概要) 骨粗鬆症の薬物療法は長足の進歩を遂げ、最近では破骨細胞の分化や機能を阻害する新たな骨吸収抑制薬が登場している。また骨形成促進薬も異なる投与間隔のPTH製剤に加え、抗体製剤の開発も進んでいる。本講演では作用機序と臨床効果に基づいた骨粗鬆症治療薬の使い分けとその課題、さらにリエゾンによる新たな取り組みを紹介する。

### ランチョンセミナー 4 総合病院における認知症診療の現況

～もの忘れ外来と院内認知症対応チームの実際～

11月29日(土) 12時00分～12時50分 (第4会場 503)

共催：小野薬品工業株式会社

座長：新井 平伊 (順天堂大学大学院医学研究科精神・行動科学教授)

演者：川畑 信也 (社会医療法人財団新和会八千代病院  
認知症疾患医療センターセンター長)

(概要) 総合病院もの忘れ外来での認知症診療と院内認知症対応チームの実態を報告する。もの忘れ受診2051名のなかでアルツハイマー型認知症は60.6%、レビー小体型認知症4.1%、認知症の病型判断困難4.5%、治療可能な認知症は72名であった。抗認知症薬4種の臨床効果やVSRADの役割など臨床的な問題点を報告したい。

## ランチョンセミナー 5 高齢者の認知症とてんかんの鑑別重要性

11月29日(土) 12時00分～12時50分 (第5会場 303+304)

共催：日本脳神経核医学研究会／日本核医学会／富士フィルム RI ファーマ株式会社  
座長：松田 博史 (国立精神・神経医療研究センター  
脳病態統合イメージングセンターセンター長)

1. 高齢者てんかんの特徴と、診断・治療に関する最新の知見 — 認知症との鑑別 —  
大宮西口メンタルクリニック, 国立精神・神経医療研究センター病院精神科医長 渡辺 雅子
2. 高齢者における認知症の画像診断  
地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター放射線診断科 伊藤 公輝

(概要) (1) 高齢者のてんかん発症率が高いことが知られているが、その症状が認知症と類似することから診断、治療に遅れるケースがある。一方、治療薬の選択枝が増えたこともあり、高齢者てんかん症例では抗てんかん薬の著効する症例も少なくない。てんかんの診断、治療方針決定、治療効果について自施設の経験を含め情報提供する。(2) 認知症の画像診断ではMRIや核医学検査が有用であり、その評価には視察や統計学的手法など様々な手法が用いられている。高齢者の画像を解釈し病的所見を検出するためには、健常者との比較や加齢に伴う画像の変化への理解が重要である。今回、認知症で使用されている核医学検査を主として、高齢者における画像検査の特徴と基本的内容を解説する。

## ランチョンセミナー 6 日本における認知症の将来像

11月30日(日) 12時20分～13時10分 (第1会場 メインホール)

共催：エーザイ株式会社

対談：高見 国生 (認知症の人と家族の会・代表理事)  
森 啓 (大阪市立大学教授, 日本認知症学会・理事長)

(概要) 新しい認知症という用語が普及し、社会での受け入れが進んできました。ただ認知症への理解不足、抵抗感も残されています。治療薬が処方されるようになりましたが根本治療薬はなく、認知症の人と御家族の戸惑いと苦しみは大きくなるばかりです。本セミナーでは、国家的問題となった認知症の今とこれからに向けて日本がどうあるべきかについて、「認知症の人と家族の会」代表理事である高見さんと一緒に、お話してみたいと思います。(文責 森)

## ランチョンセミナー 7 認知症の医療連携における専門医の役割を考える

11月30日(日) 12時20分～13時10分 (第2会場 501)

共催：ノバルティス ファーマ株式会社

座長：三村 将 (慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室教授)

1. 連携ノートを利用した地域連携・教育システムの有用性  
大阪大学大学院医学系研究科精神医学教室講師 数井 裕光
2. 認知症の医療連携における認知症疾患医療センターと専門医の役割  
熊本大学大学院 生命科学研究部神経精神医学分野教授 池田 学

(概要) (1) 我々は連携ノートを用いた地域連携システムに、教育的効果があることを発見した。当日は、現在、人口16万人の兵庫県川西市にこの仕組みを導入し行っている教育的支援活動を紹介する。  
(2) 本講演では、大学病院精神科（基幹型）と精神科病院（地域拠点型）に設置された認知症疾患医療センターを中心とする認知症医療連携システムの活動の中で、専門医やかかりつけ医との連携、専門医による人材育成、医療専門職によるアウトリーチ、長期的な医療と介護の連携に焦点を当て、今後の認知症医療連携における専門医の役割について論じてみたい。

## ランチョンセミナー 8

11月30日（日） 12時20分～13時10分（第3会場 502）

共催：第一三共株式会社

座長：玉岡 晃（筑波大学医学医療系神経内科学教授）

1. 神経細胞保護作用と認知症治療薬～グルタミン酸仮説を中心に～

札幌医科大学医学部神経内科学講座教授 下濱 俊

2. 長期的視点からみた認知症治療薬の効果

鳥取大学医学部脳神経内科学講師 和田 健二

(概要) NMDA受容体拮抗薬であるメマンチンは、グルタミン酸仮説に基づきAD治療薬として開発され、神経細胞保護作用、記憶・学習機能障害の抑制を通じて認知症症状の進行抑制が期待できる薬剤である。講演では、最近の知見も合わせ、基礎、臨床面からこれらの作用について考察するとともに、AD治療薬による治療意義についても触れる。

## ランチョンセミナー 9 パーキンソン病の早期診断と早期治療

11月30日（日） 12時20分～13時10分（第4会場 503）

共催：大塚製薬株式会社

座長：田中 章景（横浜市立大学大学院医学研究科神経内科学・脳卒中医学主任教授）

演者：吉井 文均（東海大学医学部内科学系脳神経内科教授

東海大学医学部付属大磯病院病院長）

(概要) パーキンソン病では黒質変性が70～80%生じて初めて神経症状が出現するので、早期に診断、治療を開始する方向にある。

早期診断法としては、非運動症状に注目したり、DATスキヤンの所見や生化学的バイオマーカーが重視される。治療についてはLevodopaは運動合併症を起こしやすいので、CDSの概念に基づくCDDアゴニストなどでの治療開始が主流になりつつある。

## ランチョンセミナー 10 パーキンソン病の新たな展開

— 認知機能障害を伴うパーキンソン病と徐放性ドパミンアゴニスト —

12月1日（月） 11時40分～12時30分（第2会場 501）

共催：グラクソ・スミスクライン株式会社

座長：美原 盤（公益財団法人脳血管研究所美原記念病院神経内科院長）

演者：織茂 智之（公立学校共済組合関東中央病院神経内科部長）

(概要) パーキンソン病では運動症状に加え、さまざまな非運動症状が認められるが、進行期の患者では、運動症状では運動合併症、非運動症状では認知機能障害が特に重要な問題である。本ランチョンセミナーでは、認知機能障害を伴うパーキンソン病と運動合併症の治療目的に開発された徐放性ドパミンアゴニストについて解説する。

## ランチョンセミナー 11 東洋医学からみた認知症薬物療法を考える

### アルツハイマー型認知症の新たなスクリーニング検査を踏まえて

12月1日(月) 11時40分～12時30分 (第3会場 502)

共催：クラシエ薬品株式会社

座長：前田 潔 (神戸学院大学総合リハビリテーション学部教授, 神戸大学名誉教授)

演者：宮澤 仁朗 (特定医療法人さっぽろ悠心の郷ときわ病院院長)

(概要) 日本人が創薬したといわれ、最もバランスが良く美しい漢方薬と評価される抑肝散加陳皮半夏が、近年、アルツハイマー型認知症(AD)のBPSDに対して有効であり副作用も寡少との知見が集積している。演者の臨床データを報告するとともに、本剤がADの根治療法、予防につながる可能性について言及する。更に、新たなADのスクリーニング検査として、Me-CDT (Memory entailed-CDT, 記憶付加型時計描画テスト)を紹介する。

## ランチョンセミナー 12 認知症診療におけるドパミントランスポーターイメージング

12月1日(月) 11時40分～12時30分 (第4会場 503)

座長：中島 健二 (鳥取大学脳神経内科学)

共催：日本脳神経核医学研究会／日本核医学会／日本メジフィジックス株式会社

### 1. Lewy 小体病における DaT scan

医療法人社団明芳会横浜新都市脳神経外科病院内科・認知症診断センター部長 眞鍋 雄太

### 2. パーキンソン症候群の診療におけるドパミントランスポーターイメージング

東京都健康長寿医療センター研究所神経画像研究チーム研究部長 石井 賢二

(概要) (1) dopamine transporter imaging である、 $^{123}\text{I}$ -ioflupane SPECT が撮像可能となった。CDLB 臨床診断ガイドラインの示唆的特徴にも記載されている検査であり、我が国で先行する MIBG 心筋シンチグラフィとともにより精緻な診断への寄与が期待される。

(2) ドパミントランスポーター画像は、黒質変性を感度良く検出できるので、パーキンソン症候群の早期診断に有用な診断技術である。日常診療の中でどのように用いるか、MIBG 心筋シンチとの比較も含め、自験例を提示して考察する。

## モーニングセミナー 1 日本における認知症施策の新展開 オレンジプランを踏まえて

11月30日(日) 9時10分～10時00分 (第2会場 501)

共催：日本ケミファ株式会社

座長：小田原俊成 (横浜市立大学附属市民総合医療センター精神医療センター部長)

演者：栗田 主一 (東京都健康長寿医療センター研究所)

自立促進と介護予防研究チーム研究部長)

(概要) 2012年に厚生労働省より発表された「認知症施策推進5ヵ年計画(オレンジプラン)」によって、認知症の人の暮らしを支える、地域の特性に応じた、地域発の、統合ケア提供体制創出の動きが、市町村や多様な組織・団体を単位にして、徐々に現れはじめている。その現状を分析しながら、今後の新展開に向けて考察する。

## モーニングセミナー 2 高齢者に多い COPD にどう向き合うか

11月30日(日) 9時10分~10時00分 (第3会場 502)

共催: マルホ株式会社

座長: 瀬戸口靖弘(東京医科大学呼吸器内科学分野教授)

### 1. 身近な生活習慣病 COPD とは

東京医科大学呼吸器内科学分野教授 瀬戸口靖弘

### 2. 認知機能低下者に適した COPD 治療とは

関東 IT ソフトウェア健康保険組合健診センター所長 高橋 英気

(概要) COPD(慢性閉塞性肺疾患)は、今や高齢者にとっては死亡リスクの大きな要因となっており、見過ごせない疾患の一つとなっている。本セミナーでは、呼吸器を専門としない先生方を対象に、分かりやすく病態の説明をし、最新の COPD ガイドラインに準じながら、患者さんの状態に合わせた治療法や管理方法について講演する。

## モーニングセミナー 3 Neurobiology of Alzheimer's Disease

### — Opportunities for Biomarkers in a Clinical Diagnosis —

11月30日(日) 9時10分~10時00分 (第4会場 503)

共催: 日本イーライリリー株式会社

座長: 山田 正仁(金沢大学大学院脳老化・神経病態学(神経内科学)教授)

演者: James Brewer (Professor, Departments of Radiology and Neuroscience,  
University of California, San Diego)

### (概要)

#### Program Description

This interactive symposium will provide an in-depth, scientific examination of the neurobiology of Alzheimer's disease. The key molecular, physiological, anatomical, and cognitive changes of the disease will be explored. The role of neural networks in the progressive spread of Alzheimer's disease through the brain will be examined and discussed. The progression of biological changes that underlie Alzheimer's disease and their correlation with the clinical syndrome will be explored with the goal of a deeper understanding and appreciation of the underlying neurobiology of the disease. The role of current biomarkers and diagnostics will also be discussed.

#### Program Objectives

Upon completion of this program, participants should be able to ;

- Describe the key molecular, physiological, anatomical, and cognitive changes of Alzheimer's disease
- Understand the progression of biological changes that underlie Alzheimer's disease and their correlation with the clinical syndrome
- Explain the current challenges of a clinical diagnosis of Alzheimer's disease and how biomarkers may fit into the diagnostic process across the disease spectrum

アフタヌーンセミナー 1 認知症を伴う高齢糖尿病の管理  
～GLP-1 受容体作動薬をどう診療に活かすか～

11月30日(日) 15時30分～16時20分 (第2会場 501)

共催：アストラゼネカ株式会社

座長：羽生 春夫 (東京医科大学高齢総合医学講座主任教授)

演者：櫻井 孝 (国立長寿医療研究センターもの忘れセンター長)

(概要) 2型糖尿病患者の脳機能低下の背景には、高血糖に伴うさまざまな代謝異常や血管障害、インスリン抵抗性が存在する。さらに認知症を伴う糖尿病患者では、過食やアパシー (自発性の低下) などといったBPSDが治療を困難にする可能性がある。

本講演では認知症を伴う高齢糖尿病の管理において、GLP-1受容体作動薬が果たす役割と、最近登場した週1回製剤の位置づけについて紹介する。

アフタヌーンセミナー 2 漢方薬を用いた認知症患者のトータルケア

11月30日(日) 15時30分～16時20分 (第3会場 502)

共催：株式会社ツムラ

座長：平安 良雄 (横浜市立大学大学院医学研究科精神医学部門主任教授)

演者：水上 勝義 (筑波大学大学院人間総合科学研究科教授)

(概要) 従来高齢者の身体症状に対して漢方薬がしばしば用いられてきたが、最近認知症の行動心理症状 (BPSD) に対して抑肝散などの漢方薬の有用性が注目されている。また漢方薬は認知機能障害に対する効果も報告されている。すなわち漢方薬は認知症患者のトータルケアに有用といえる。

## 【ポスター討論】

演題番号 奇数：学術集会 2 日目 11 月 30 日（日）16 時 30 分～17 時 30 分

（ポスター会場 301+302+303+304）

演題番号 偶数：学術集会 3 日目 12 月 1 日（月）14 時 50 分～15 時 50 分

（ポスター会場 301+302+303+304）

<A $\beta$  APP（代謝）>001 アミロイド  $\beta$  タンパクの BACE1 発現増強効果

筑波大学医学医療系神経内科学 儘田 直美

002 Rab8a を介した A $\beta$  産生制御機構の解明

東京大学大学院薬学系研究科臨床薬学教室 小島 良太

003  $\gamma$ -secretase 活性中心サブユニット Presenilin 1 第 3 膜貫通領域の構造活性相関解析

東京大学薬学部臨床薬学教室 森島 果南

004 脳脊髄液中の A $\beta$  分解産物の同定

大阪大学大学院医学系研究科精神医学教室 水田 直樹

005 細胞内に存在する A $\beta$  由来のオリゴペプチドの LC-MS/MS による測定

大阪大学大学院医学系研究科精神医学 児玉 高志

006 第 III 相臨床試験薬 Semagacestat (LY450139) による認知機能悪化の原因解析

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科ゲノム創薬学研究室 浅井 将

007 ILEI はアルツハイマー病モデルマウスのアミロイド沈着と記憶障害を軽減させる

滋賀医科大学分子神経科学研究センター 劉 磊

008 Regional distribution of Amyloid- $\beta$ , soluble APP and synapses in human brains

Department of Neuroscience, Mayo Clinic, USA Mitsuru Shinohara

009 GXXXG モチーフ挿入による Notch の二量体形成と S4 切断への影響の検討

同志社大学大学院生命医科学研究科神経病理学 藤原ひとみ

010 GXXXG モチーフの変異による APP 二量体化への影響

同志社大学大学院脳科学研究科認知記憶加齢部門 東出 英和

011 iPS 由来ヒト大脳皮質神経細胞の A $\beta$  産生に関連する性質

大阪大学大学院医学系研究科・精神医学教室 大河内正康

012  $\gamma$ -secretase modulator は AD 患者由来の iPS 細胞にも効果がある

大阪大学大学院医学系研究科内科系臨床医学専攻情報統合医学講座精神医学分野 柳田 寛太

013 A $\beta$  分泌機構における Rab7 および結合分子群の機能解析

東京大学大学院薬学系研究科臨床薬学教室 黒田 浩正

<A $\beta$ , APP（凝集, ほか）>014 抗パーキンソン病薬のアミロイド  $\beta$  蛋白及び  $\alpha$  シヌクレイン蛋白のオリゴマー形成抑制

金沢大学脳老化・神経病態学（神経内科） 小野賢二郎

015 非カテコール型フラボノイドによるアミロイド  $\beta$ 42 の凝集抑制機構

京都大学大学院農学研究科 佐藤 瑞穂



- 016 ミダゾラムは A $\beta$  重合体形成を抑制する  
北陸大学薬学部 山本 直樹
- 017 不飽和遊離脂肪酸が A $\beta$  凝集に与える影響についての *in vitro* 解析  
東京大学大学院医学系研究科神経病理学分野 衛藤 樹
- 018 脳内アミロイド形成に先行する神経細胞膜脂質組成変化の探索  
国立長寿医療研究センター認知症先進医療開発センター治療薬探索研究部 及川 尚人
- 019 Split-luciferase を利用した apoE と A $\beta$  の相互作用高感度測定法の開発  
東京大学大学院薬学系研究科臨床薬学教室 大野裕太郎
- 020 リポ蛋白受容体 LR11 による ApoE isoform 依存性 ApoE-A $\beta$  複合体の代謝機構の解析  
新潟大学脳研究所神経内科 矢島 隆二
- 021 Abeta oligomer は lipid rafts で prion と結合して信号伝達系を障害する  
弘前大学大学院医学研究科脳神経内科学講座 瓦林 毅
- 022 AD 脳ならびに脳脊髄液中の毒性 A $\beta$  コンホマー同定の試み  
筑波大学医学医療系神経内科学 富所 康志
- 023 A $\beta$  ピログル化酵素グルタミルシクラーゼの酵素学的特性についての検討  
長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 高橋 茜
- 024 脳アミロイドアンギオパチー (CAA) アミロイドのプロテオミクス解析  
公益財団法人東京都医学総合研究所認知症・高次脳機能研究分野 亀谷富由樹
- <タウ>
- 025 APP 発現によるタウ蓄積の亢進  
東京都医学総合研究所認知症・高次脳機能分野病態細胞生物研究室 高橋 宗聖
- 026 A $\beta$  と tau とをつなぐ missing piece 分子の同定とその機能解析  
理化学研究所脳科学総合研究センター神経蛋白質制御研究チーム 一色 隼人
- 027 APP-Tg マウスへの野生型ヒトタウの導入による神経原線維変化の形成  
大阪市立大学大学院医学研究科脳神経科学 梅田 知宙
- 028 APP・タウダブルノックインマウスの作製  
理化学研究所脳科学総合研究センター 塚越かおり
- 029 細胞外タウの生化学的解析  
独立行政法人国立長寿医療研究センター NC 企業連携共同研究部 (エーザイ) 吉田 裕孝
- 030 MAP2 とタウの異なる凝集性を決定するアミノ酸配列の同定  
同志社大学生命医科学部神経病理学 謝 策
- 031 正常脳におけるタウの神経細胞内局在  
同志社大学生命医科学部神経病理学研究室 久保 厚子
- 032 tau-Tg マウス脳における内在性および外来性タウの神経細胞内局在  
同志社大学生命医科学部神経病理学研究室 久保 厚子
- 033 新規 tau インタラクトーム解析法の開発  
理化学研究所脳科学総合研究センター 高野 二郎
- 034 肥満とタウ病理の病態関連：タウオパチーモデルマウスを用いての検討  
国立病院機構千葉東病院神経内科 吉山 容正

- 035 プログラニュリンの減少はタウのリン酸化を亢進させる  
東京都医学総合研究所認知症プロジェクト 細川 雅人
- <A $\beta$ ・タウ以外の標的分子>
- 036 プログラニュリン遺伝子欠如に特徴的な脳の病理におけるリソソーム機能不全の関与  
東京都医学総合研究所認知症・高次脳機能分野病態細胞生物研究室 田中 良法
- 037 TDP-43 の C 末端領域の凝集に関わる配列の同定  
東京都医学総合研究所病態細胞生物研究室 下中翔太郎
- 038 微小管依存的 TDP-43 輸送の障害はオリゴマー形成を促進し神経変性を惹き起こす  
国立精神・神経センター神経研疾病 4 部 永井 義隆
- 039 FUS と SFPQ の複合体は Mapt の選択的 splicing を制御し ALS/FTLD の高次機能障害に関与する  
名古屋大学大学院医学系研究科神経内科 石垣 診祐
- 040 FUS は GluA1 mRNA 安定性の調節を介してシナプス機能及び FTLD 様行動を制御する  
名古屋大学医学部神経内科 渡辺 宏久
- 041 Impact of dipeptide repeat protein with cytotoxic properties on c9FTD/ALS  
慶應義塾大学医学部神経内科 山川 真以
- 042 パーキンソン病病因遺伝子 LRRK2 の細胞内リン酸化制御機構  
東京大学大学院医学系研究科神経病理学分野 藤本 哲太
- 043 HTRA1 変異ヘテロ接合者における脳小血管病の発症機序  
新潟大学医学部保健学科 野崎 洋明
- 044 変異型 Notch3 ノックインマウス脳のプロテオーム解析  
独立行政法人国立長寿医療研究センター研究所 渡邊 淳
- <認知症疾患関連分子>
- 045 アルツハイマー病における生体分子間ネットワーク解析手法の提案  
バイオテクノロジー開発技術研究組合 菊地 正隆
- 046 ヒト剖検脳を用いたアルツハイマー病関連マイクロ RNA の解析  
新潟大学脳研究所遺伝子機能解析学 原 範和
- 047 アルツハイマー病脳老人斑構成成分 CLAC-P の中枢神経系における生理機能の解明  
東京大学大学院医学系研究科神経病理学分野 宗実 悠佳
- 048 アルツハイマー病モデルマウスにおける EphA4 発現量を減少させる分子機構の解析  
東京大学大学院薬学系研究科臨床薬学教室 塩原 梓
- 049 新規病態関連因子 X 過剰発現によるタウ病理への影響  
理化学研究所脳科学総合研究センター 佐藤 亘
- 050 次世代型 AD モデルマウスを用いた因子 Y の AD 病理における機能解析  
理化学研究所脳科学総合研究センター 橋本 翔子
- 051 Leucine-rich alpha-2-glycoprotein 1 (LRG1) 過剰発現モデルマウスにおける認知機能  
越谷市立病院 秋葉ちひろ
- 052 Alzheimer 病における Tom1 の発現に関する免疫組織学的検討  
群馬大学医学系研究科脳神経内科学 牧岡 幸樹

- 053 アルツハイマー病における GADD34 の局在の検討  
京都大学大学院医学研究科薬剤疫学分野 本城 靖之
- 054 脆弱 X 関連振戦/運動失調症候群 (FXTAS) 患者脳における FMRP 蛋白質量の比較検討  
筑波大学医学医療系神経内科学 石原 慎矢
- <Alzheimer 病と糖尿病>
- 055 アルツハイマー病マウスの認知機能における末梢インスリン抵抗性の影響  
九州大学大学院医学研究院神経内科学 柳原 由記
- 056 インスリンシグナル異常とアルツハイマー病を結ぶ分子メカニズムの解析  
東京大学大学院薬学系研究科臨床薬学教室 松井健太郎
- 057 高グルコース状態がアミロイド  $\beta$  に及ぼす影響について  
新潟大学脳研究所神経内科 手塚 敏之
- 058 非糖尿病アルツハイマー病患者の認知機能における末梢インスリン抵抗性の影響  
九州大学医学研究院神経治療学 大八木保政
- 059 アルツハイマー病におけるバイオマーカーとしての GLP-1, DPP-4 の解析  
京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻 野田 泰葉
- 060 アルツハイマー病に対する糖尿病の影響の検討  
名古屋大学医学部附属病院 柳川まどか
- 061 地域在住高齢者における糖尿病と認知症の関係  
大崎市民病院田尻診療所 山口 智
- 062 MMSE および言語流暢性検査を用いた 2 型糖尿病患者の認知機能低下についての検討  
国家公務員共済組合連合会横浜栄共済病院代謝内分泌内科 南 太一
- 063 糖尿病性認知症における炎症性サイトカインの検討  
東京医科大学病院高齢総合医学分野 深澤 雷太
- <神経炎症, その他の脳病態>
- 064 パーキンソン病病因遺伝子 LRRK2 の免疫系における機能の解明  
東京大学大学院医学系研究科神経病理学分野 江口 智也
- 065 モデルマウスを用いたアルツハイマー病病態修飾因子のプロテオミクス解析  
長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 能登 雄太
- 066 Alzheimer 病モデル動物脳における microglia の経時的動態  
札幌医科大学医学部神経内科学講座 松村 晃寛
- 067 初代培養ミクログリア培養系でのアミロイド蛋白刺激による SOCS3 発現量の変化  
札幌医科大学医学部神経内科 岩原 直敏
- 068 認知症患者における酸化ストレス— dROMs・BAP テストによる検討—  
日本大学薬学部薬事管理学 泉澤 恵
- 069 Mitochondrial Ferritin plays a protective role in Parkinson Disease  
滋賀医科大学分子神経科学研究センター 関 宏鵬
- 070 質量分析法を基盤とする認知症患者病理試料のノンターゲット多変量解析  
静岡県立大学薬学部 井之上浩一

## &lt;新規治療法開発研究&gt;

- 071 創薬開発に資する新規アルツハイマー解析モデルマウスの作製  
国立長寿医療研究センター CAMD 創薬モデル動物開発研究 PT 津田 玲生
- 072 PS2APP マウスの行動薬理的, 生化学的及び病理組織学的評価  
株式会社日本バイオリサーチセンター 村澤 寛泰
- 073 アルツハイマー病遺伝子改変マウスにおける新規クルクミン誘導体の治療効果の解析  
滋賀医科大学分子神経科学研究センター 柳沢大治郎
- 074 パーキンソン病モデル動物の認知障害に対する陳皮成分ノビレチンの改善作用  
東北大学大学院薬学研究科薬理学分野 矢吹 悌
- 075 Effects of methylene blue and another oxidant on human tau transgenic fly models  
国立長寿医療研究センターアルツハイマー病分子病態・治療開発 PT Sheik Mohideen Sahabudeen
- 076 T 型カルシウムチャネル活性化薬のアルツハイマー病治療への応用  
東北大学大学院薬学研究科薬理学分野 福永 浩司
- 077 血液浄化による Alzheimer 病治療法の開発へ～治療プロトコル評価用モデル動物の検討～  
藤田保健衛生大学医療科学部臨床工学科 川口 和紀
- 078 新規 BACE1 阻害薬 AZD3293 の薬力的プロファイル  
アストラゼネカ株式会社研究開発本部前臨床開発グループ 村田 陽介
- 079 新規アルツハイマー病治療薬 (TAK-070) の第 I 相医師主導治験  
東京大学医学部附属病院早期・探索開発推進室 森豊 隆志

## &lt;Alzheimer 病 (症候・診断)&gt;

- 080 アルツハイマー型認知症患者の急速な進行を来す要因についての検討  
大阪市立大学大学院医学研究科神経精神医学 田川 亮
- 081 本邦・家族性アルツハイマー病のデータベース (JFADdb) の構築  
新潟大学脳研究所遺伝子機能解析学分野 春日 健作
- 082 アルツハイマー病における mental rotation 遂行機能の検討  
独) 国立長寿医療研究センター 加藤 公子
- 083 アルツハイマー型認知症患者における発話内容と認知機能の関係: 談話分析を用いた検討  
三重大学大学院医学系研究科認知症医療学講座 阿部真貴子
- 084 アルツハイマー病患者における 1 日運動量と認知機能の関連  
東京医科歯科大学大学院脳神経病態学 (神経内科) 日熊 麻耶
- 085 認知症重度化にともなう摂食・嚥下機能の変化 — FAST を基準にした検討 —  
東京都健康長寿医療センター研究所 枝広あや子
- 086 アルツハイマー病における食行動障害についての調査  
熊本大学医学部附属病院神経精神科 甲斐 恭子
- 087 抑うつ・アパシーと認知機能の縦断的变化との関連  
名古屋大学未来社会創造機構 牧野多恵子
- 088 PCA を呈する AD, 早期発症型 AD, DLB の臨床および画像的検討  
群馬大学医学部神経内科 池田 将樹

- 089 アルツハイマー病に合併したてんかんで嘔吐発作を呈した1例  
 順天堂東京江東高齢者医療センター脳神経内科 林田 有紗
- 090 臨床的に前頭側頭型認知症が疑われた一剖検例  
 大悟病院老年期精神疾患センター 井上 輝彦
- 091 前頭側頭型認知症の臨床像・画像所見を呈したアルツハイマー病の一剖検例  
 名古屋大学神経内科 今井 和憲
- 092 骨折を契機に診断された最軽度AD：リハビリ教示の理解困難な「宣言的学習」障害の治療  
 東北大学 CYRIC 高齢者高次脳医学研究部門 中村 馨
- <Alzheimer 病（薬物治療）>
- 093 ドネペジル 10 mg/day への増量によるアルツハイマー型認知症患者の介護負担への影響  
 愛知学院大学薬学部 中村 一仁
- 094 アルツハイマー病のBPSDに対するガランタミンの効果  
 横浜市立大学神経内科 中江 啓晴
- 095 ガランタミンの多段階増量治療63例の治療成績  
 誠弘会池袋病院脳神経外科 平川 亘
- 096 アルツハイマー病の認知機能・BPSDにおけるガランタミンの効果と介護負担への影響  
 岡山大学神経内科 菱川 望
- 097 アルツハイマー型認知症治療におけるガランタミンの使用成績調査の報告  
 ヤンセンファーマ株式会社メディカルアフェアーズ本部 瀧澤真奈美
- 098 リバスタグミン少量投与でADLが著明に改善した例の検討  
 まつもと脳神経・内科クリニック 松本 正人
- 099 アルツハイマー型認知症治療におけるリバスタグミンパッチの使用成績調査の中間報告  
 順天堂大学大学院精神行動科学 新井 平伊
- 100 救急病院の認知症治療～リバスタグミンを用いた急性期病棟非認知症化の試み～  
 誠弘会池袋病院脳神経外科 平川 亘
- 101 リバスタグミン貼付剤による皮膚症状に影響する因子の検討  
 国立長寿医療研究センター薬剤部 添田 美季
- 102 アルツハイマー型認知症治療薬の脈拍数に関する影響の検討  
 山口大学大学院医学系研究科神経内科学 川井 元晴
- 103 アルツハイマー病に対するドネペジル・降圧薬併用治療の検討  
 住友病院神経内科 當間圭一郎
- 104 早期アルツハイマー型認知症に対する診断と治療  
 国立病院機構甲府病院脳神経外科 長沼 博文
- 105 A Meta-analysis of Combination Therapy for Alzheimer's Disease  
 藤田保健衛生大学病院精神科 松永 慎史
- 106 長期療養型病院におけるコリンエステラーゼ阻害薬とメマンチン併用療法使用状況の検討  
 医療法人社団誠馨会総泉病院 谷 もも
- 107 メマンチンの周辺症状・介護負担度軽減効果—VASを用いた2ヶ月後と1年後の検討—  
 医療法人厚生会道ノ尾病院内科 芹田 巧

- 108 認知症に対するシロスタゾール単独治療 76 例の治療成績  
誠弘会池袋病院脳神経外科 平川 亘
- 109 MCI に対するシロスタゾール療法の多施設共同二重盲検試験 : Protocol of COMCID study  
国立循環器病研究センター再生医療部 齊藤 聡
- 110 アルツハイマー型認知症患者へのラメルテオンの効果  
聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院神経精神科 長谷川 浩
- <Alzheimer 病 (バイオマーカー)>
- 111 アルツハイマー型認知症患者における血漿中アミノ酸プロファイル  
新潟大学脳研究所遺伝子機能解析学 池内 健
- 112 MCI バイオマーカーとしての血清ビタミン D 値の有用性  
福岡大学医学部神経内科 合馬 慎二
- 113 アルツハイマー病の酸化ストレスマーカー  
東京医科大学高齢診療科 畑中 啓邦
- 114 末梢血中の A $\beta$ 42 サロゲートマーカー, APL1 $\beta$ 28 の開発状況について  
大阪大学大学院医学系研究科精神医学教室 田上 真次
- 115 アルツハイマー病早期診断マーカーの検討—イムノ PCR 法によるオリゴマー A $\beta$  の検出—  
鳥取大学医学部保健学科生体制御学講座 高村 歩美
- 116 BAN50 SAS-ELISA による CSF および血清 A $\beta$  オリゴマーレベルの比較  
京都府立医科大学神経内科 笠井 高士
- 117 演題取り下げ
- 118 臨床場面での神経心理検査とアミロイド  $\beta$  の関連について  
東京都健康長寿医療センター高齢者バイオリソースセンター 小幡 真希
- <アミロイド/タウ・イメージング>
- 119 高齢認知症患者における [ $^{11}\text{C}$ ] PiB-PET, [ $^{18}\text{F}$ ] FDG-PET 画像の検討  
大阪市立大学医学部老年科, 神経内科 安宅 鈴香
- 120  $^{11}\text{C}$ -PiB PET/CT によるうつ病におけるアミロイド微小集積に関する試験的検討  
国立精神・神経医療研究センター脳病態統合イメージングセンター 今林 悦子
- 121 モデルマウスの画像病理相関解析による [ $^{11}\text{C}$ ] PIB の主要標的病変の同定  
放射線医学総合研究所分子イメージング研究センター 関 千江
- 122 アルツハイマー病患者及び健康成人における新規 SPECT 用 A $\beta$  イメージングプローブの評価  
日本メジフィジックス株式会社 大西 崇子
- 123 rTg4510 タウオパチーマウスによるタウリガンド PBB3 フッ素誘導体の特性評価  
千葉大学大学院医学部神経内科 石川 愛
- 124 [ $^{11}\text{C}$ ] PBB3 PET は進行性核上性麻痺および大脳基底核変性症におけるタウ病変を捉える  
放射線医学総合研究所分子イメージング研究センター 篠遠 仁
- 125 タウイメージング用トレーサー [ $^{18}\text{F}$ ] THK-5351 の前臨床評価  
東北大学加齢医学研究所 ニューロ・イメージング研究 原田 龍一
- 126 [ $^{18}\text{F}$ ]-FDDNP-PET によるパーキンソン症候群の鑑別診断  
京都府立医科大学分子脳病態解析学 (神経内科) 徳田 隆彦

- 127 アルツハイマー病患者における  $[^{18}\text{F}]$  THK-5117 PET 集積値と脳容積に関する検討  
東北大学加齢医学研究所老年医学分野 石木 愛子
- <脳形態画像検査>
- 128 MRI 画像によるアミロイド  $\beta$  陽性と陰性の MCI の鑑別  
滋賀医科大学分子神経科学研究センター 椎野 顯彦
- 129 青斑核の MRI イメージング：加齢性およびアミロイド関連性変化の検討  
国立長寿医療研究センター放射線診療部 加藤 隆司
- 130 Alzheimer 病患者 (AD) における VSRAD advance と VSRAD plus の比較検討  
社会医療法人春回会長崎北病院神経内科 富田 逸郎
- 131 アルツハイマー病とレビー小体型認知症における脳形態画像と神経心理検査に関する研究  
国立病院機構北陸病院 小林 信周
- 132 VBM 解析を用いた DLB と AD の鑑別  
東京医科大学医学部高齢総合医学分野高齢診療科 金高 秀和
- 133 大脳皮質下病変が IADL 低下に与える影響  
国立長寿医療研究センターもの忘れセンター 大釜 典子
- 134 Cholinergic Pathways HyperIntensities Scale と大脳皮質容積低下の関連性  
独立行政法人国立精神・神経神経医療研究センター脳病態統合イメージングセンター 舞草 伯秀
- 135 地域在住高齢者における認知機能と脳灰白質関連因子の検討  
鳥取大学医学部脳神経内科 山本 幹枝
- 136 MRI 大脳容積画像を用いた前頭側頭型認知症とアルツハイマー型認知症の鑑別  
名古屋大学医学部神経内科 榊田 道人
- <機能画像・生理検査>
- 137 FDG-PET および MRI による健忘型 MCI から AD への移行予測診断能の検討 (SEAD-Japan)  
国立長寿医療研究センター放射線診療部 乾 好貴
- 138 FDG-PET, MRI 画像および神経心理データを用いた MCI の進行予測に関する検討  
国立長寿医療研究センター脳機能画像診断開発部 藤原 謙
- 139 アルツハイマー病に伴う Default Mode Network 機能変化の評価法の検討  
国立長寿医療研究センター脳機能画像診断開発部 岩田 香織
- 140 脳卒中リハビリテーションにおける脳血流 SPECT による認知症評価の有用性  
社会医療法人志聖会総合犬山中央病院脳神経外科 荒木 有三
- 141 もの忘れ外来初診患者における SPECT 診断能の検討：大崎-田尻プロジェクト  
東北大学 CYRIC 高齢者高次脳医学 金田 朋洋
- 142 各種認知症治療薬の効果の相違— ADAS-Jcog および SPECT による比較—  
東京医科大学八王子医療センター高齢診療科 金谷 潔史
- 143 Cholinergic enhancement increases rCBF to the posterior cingulate in mild AD  
結核予防会複十字病院 飯塚 友道
- 144 3 種類の抗 AChEI 剤による治療効果と脳血流 SPECT の変化の検討— Z-SAM による検討—  
岡山赤十字病院神経内科 武久 康

- 145 近赤外光スペクトロスコピーを用いたアルツハイマー病患者の前頭葉機能障害の検討  
社会医療法人春回会長崎北病院 瀬戸 牧子
- 146 認知症患者の単純・連続繰り返し動作における fNIRS による血流評価と転倒傾向  
杏林大学ものわすれセンター 中居 龍平
- 147 物忘れ外来における認知症高齢者の NAT 解析と他施設研究との比較  
横浜市立大学附属市民総合医療センター 堀 岳人
- 148 脳波を用いたアルツハイマー型認知症, レビー小体型認知症, 健常成人の鑑別  
株式会社脳機能研究所 小林 洋平
- 149 DLB と AD の鑑別における DAT スキャンの有用性  
東京医科大学 清水聰一郎
- 150 神経変性疾患診断におけるドパミン・トランスポーター イメージングの有用性  
蘇生会総合病院神経内科 生天目英比古
- 151 Lewy 小体型認知症の鑑別診断における簡易版 MIBG 心筋シンチグラフィの有用性  
横浜新都市脳神経外科病院内科認知症診断センター 眞鍋 雄太
- <Lewy 小体型認知症>
- 152 MIBG 心筋シンチグラフィ集積低下と抑うつ症状を認める高齢患者の臨床的特徴  
岡山大学病院精神科神経科 竹之下慎太郎
- 153 パーキンソン病患者の脳深部刺激療法後における高次脳機能障害の評価  
獨協医科大学日光医療センター神経内科 山本 真也
- 154 身体不定愁訴を認めた 78 歳男性の 1 剖検例: レビー小体型認知症の初期症状について  
名古屋大学大学院医学系研究科睡眠医学 藤城 弘樹
- 155 SNCAp.G51D 変異を有する若年発症パーキンソン病患者の臨床像・画像の検討  
新潟大学脳研究所神経内科 徳武 孝允
- 156 家族内に集積したレビー小体型認知症の 3 症例  
医療法人社団旭川圭泉会病院 嶋岡 修平
- 157 血中 oxDJ-1 の異常高値を示し, 幻覚を認めた PD の 4 例  
近畿大学医学部神経内科 西郷 和真
- 158 レビー小体型認知症の 4 症例における修正型電気けいれん療法の効果について  
伊達赤十字病院精神神経科 村山 友規
- 159 疼痛と幻視に対して gabapentin が有効だったパーキンソン病の認知症の 1 例  
横浜市立大学医学部精神医学教室 阿部 紀絵
- 160 ドネペジルから少量のガランタミンへの切り替えが著効したレビー小体型認知症の 1 例  
総合上飯田第一病院 鶴飼 克行
- 161 レビー小体病の幻覚妄想に対しドネペジルからリバスチグミンへの切替えが著効した 2 例  
藤田保健衛生大学病院精神科 安江 一郎
- 162 リバスチグミンはパーキンソンの歩行障害を改善させる  
誠弘会池袋病院脳神経外科 平川 亘



<前頭側頭葉変性症・その他の変性疾患>

- 163 前頭側頭葉変性症の地域疫学調査  
鳥取大学医学部脳神経医科学講座脳神経内科学分野 足立 正
- 164 本邦における FTD に対する off-label 処方の実態について  
東京慈恵会医科大学精神医学講座 品川俊一郎
- 165 脳容積・拡散テンソル解析での筋萎縮性側索硬化症と前頭側頭葉変性症の共通性障害  
名古屋大学医学部神経内科 千田 譲
- 166 文の理解が顕著に保持された意味性認知症例  
名古屋大学神経内科 田中 康博
- 167 前頭側頭型認知症に伴う常同的行動障害に対して通所施設の利用が奏功した 1 症例  
名古屋大学医学部神経内科 榊田 道人
- 168 記銘力障害が前景となりアルツハイマー病と臨床診断された前頭側頭葉変性症の一例  
名古屋大学神経内科 陸 雄一
- 169 行動異常で発症した前頭側頭葉変性症と Alzheimer 病の大脳病変の比較  
名古屋大学神経内科 陸 雄一
- 170 Multiproteinopathy としての紀伊 ALS/パーキンソン認知症複合～一家系の病理像  
愛知医科大学加齢医科学研究所 三室 マヤ
- 171 紀伊半島の ALS/PDC における脳内ニトロ化ストレスの解析  
三重大学地域イノベーション学研究科紀伊神経難病センター 小久保康昌
- 172 3D-oriented immuno EM 法で直接比較したピック小体とレビー突起の光顕と電顕像  
東京都医学総合研究所脳病理形態研究室 内原 俊記
- 173 Astrocyte におけるタウの蓄積像に着目した PSP 関連タウオパチーの連続性について  
新潟大学大学院医歯学総合研究科精神医学分野 横山 裕一
- 174 法医解剖で診断された大脳皮質基底核変性症の臨床病理学的検討  
富山大学附属病院神経内科 吉田 幸司
- 175 皮質基底核症候群症状を呈した脳アミロイド血管症の 80 歳男性例  
順天堂大学順天堂医院脳神経内科 藤巻 基紀
- 176 緩徐進行性の認知機能障害を呈した神経原線維変化型認知症の centenarian の 1 剖検例  
愛知医科大学加齢医科学研究所 岩崎 靖
- 177 嗜銀顆粒病における進行性核上性麻痺病理の形成と進展：免疫組織化学的・生化学的検討  
岡山大学精神神経病態学 池田智香子
- 178 石灰化を伴うびまん性神経原線維変化病 (DNFC) が疑われた症例  
洛和会みささぎ病院神経内科 木原 武士
- 179 成人発症の神経核内封入体病自験例の臨床的検討  
前橋赤十字病院神経内科 針谷 康夫
- 180 皮膚生検により診断した Neuronal intranuclear inclusion disease 10 例の検討  
名古屋大学大学院医学系研究科神経内科学 曾根 淳
- 181 軸索スフェロイド形成を伴うびまん性白質脳症 (HDLS) の診断基準案の策定  
新潟大学脳研究所 今野 卓哉

- 182 脊髄小脳変性症における運動学習障害の評価  
横浜市立大学附属市民総合医療センター神経内科 上田 直久
- <血管性認知症, iNPH, プリオン, ほか>
- 183 片麻痺患者へのリハビリによる FIM 運動項目の改善に麻痺と全般的認知機能が与える影響  
東北大学 CYRIC 高齢者高次脳医学研究部門 高橋 由美
- 184 脳梗塞後認知機能障害における ASCO 分類スコアの役割  
神戸大学大学院医学研究科神経内科 鷺田 和夫
- 185 障害関連分子 HMGB1 の分布 — 「炎症と認知機能障害」の基礎的検討として  
東京医科大学高齢診療科 馬原 孝彦
- 186 外来通院の血管性認知症患者の MRI 解析  
東大阪山路病院脳神経外科 河本 圭司
- 187 地域在住高齢者における特発性正常圧水頭症の罹患率  
山形大学医学部内科学第三講座 高橋 賛美
- 188 iNPH 症例の脳内  $\beta$  アミロイド蓄積とシャント効果について  
国立長寿医療研究センター 文堂 昌彦
- 189 特発性正常圧水頭症の長期治療成績と髄液バイオマーカーの変遷  
順天堂大学医学部脳神経外科学講座 中島 円
- 190 とともに高齢者疾患である特発性正常圧水頭症とアルツハイマー型認知症の治療上の注意点  
白庭病院脳神経外科 青山 雄一
- 191 V180I 変異遺伝性プリオン病の臨床・病理解析  
東京医科歯科大学大学院脳神経病態学 (神経内科) 三條 伸夫
- 192 本邦最年少発症の孤発性プリオン病の 1 例  
岡山大学病院神経内科 中野由美子
- 193 軽度認知機能低下と末梢神経障害を若年に呈した世界初のプリオン蛋白遺伝子変異家族例  
岡山大学医学部神経内科 松蘭 構佑
- 194 Gerstmann-Straussler-Scheinker 病 (GSS) の認知症状とアミロイド PET についての検討  
鹿児島大学歯学部総合研究科神経内科・老年病学 橋口 昭大
- 195 18F-FDG PET にて後頭葉低代謝を示した認知症を伴う神経梅毒の一例  
順天堂大学精神医学教室 笠貫 浩史
- 196 アルツハイマー病に合併し慢性の経過を示した橋本脳症の 1 例  
ファミリークリニック森のくまさん 高野 政彦
- 197 軽度認知機能障害, 歩行失調にて受診し, Cockayne 症候群と診断した 1 例  
和歌山ろうさい病院神経内科 梶本 賀義
- <高齢者の認知機能, 認知症のスクリーニングと早期診断>
- 198 「動き」の視覚認知の加齢変化: 認知反応時間は運動視中枢の皮質ボリュームと相関する  
国立長寿医療研究センター 中村 昭範
- 199 高齢者の認知機能に影響する要因の検討  
国立長寿医療研究センター脳機能画像診断開発部 倉坪 和泉

- 200 高齢者総合機能評価を用いた認知症と関連する要因の検討  
東京医科大学高齢診療科 波岡那由太
- 201 血清エタノールアミン・プラスマローゲン, 尿ミオイノシトール, および認知機能の関係  
帝京大学医学部生化学 前場 良太
- 202 脳健診を受診しない地域住民の心理的態度に関する検討  
金沢大学医薬保健研究域医学系脳老化・神経病態学 柚木 颯偲
- 203 認知症マスキング検査アプリケーション CADi の改訂  
東京都保健医療公社豊島病院神経内科 石原 正樹
- 204 認知症スピード診断ツールの紹介 — 脳神経外科医が認知症診療に commit するために —  
やすまクリニック 安間 芳秀
- 205 軽度認知障害とアルツハイマー病におけるタッチパネル式スクリーニング検査の有用性  
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科脳神経内科学 福井 裕介
- 206 脳ドック受診者の Mini Mental State Examination 標準値: The Kashima Scan Study  
佐賀大学医学部神経内科 薬師寺祐介
- 207 地域の高齢者の MMSE と AVLT による近時記憶に関する検討~MCI のスクリーニングと診断~  
わだクリニック 和田 美弦
- 208 認知症診断における各種神経心理学的検査の有効性の比較検討  
国家公務員共済組合連合会立川病院神経内科 久住呂友紀
- 209 パーキンソン病患者の継時的認知機能評価における MMSE, MoCA-J の有用性についての検討  
鳥取大学医学部脳神経内科 田尻 佑喜
- 210 日本語版 The Montreal Cognitive Assessment の遅延再生における床効果の検討  
小林脳神経外科・神経内科病院リハビリテーション科 追分 千春
- <MCI>
- 211 地域在住の軽度認知障害 (MCI) 高齢者の QOL: 男女差と早期鑑別 — 登米プロジェクト  
東北大学 CYRIC 高齢者高次脳医学研究部門 葛西 真理
- 212 アルツハイマー病の新たな臨床病型 “Preclinical AD” の進展  
湘南厚木病院 畑下 鎮男
- 213 IMP 脳血流 SPECT (ZSAM) およびコグニスタット認知機能検査による convert MCI の早期診断  
市立函館病院脳神経外科 丹羽 潤
- 214 MCI から AD への移行予測向上を目指して — 灰白質・白質構造変化を用いた検討 —  
京都大学医学研究科附属脳機能総合研究センター 大石 直也
- 215 AD および DLB へ移行する MCI の特徴 (1) — FDG-PET 画像から —  
順天堂東京江東高齢者医療センター 近藤 大三
- 216 AD および DLB へ移行する MCI の特徴 (2) — 神経心理検査から —  
順天堂東京江東高齢者医療センター 太田 一実
- 217 簡易な指標を用いた MCI より AD への進行予測  
国立長寿医療研究センター脳機能診療部 新畑 豊
- 218 MCI のコンバートあるいはリバートに影響する要因の検討  
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科脳神経内科学 徳地 亮

- 219 地域在住高齢者における運動認知リスク症候群（MCR）の有症率：栗原プロジェクト  
東北大学 CYRIC 高齢者高次脳医学研究部門 熊居 慶一
- 220 DNA 保存高齢者連続剖検 2000 例におけるアルツハイマー型老年性変化の検討  
東京都健康長寿医療センター高齢者ブレインバンク・神経病理 初田 裕幸
- 221 アトモキセチンが有効であった高齢 ADHD 症例  
医療法人鳴子会菜の花診療所 北村 ゆり
- 222 抑肝散加陳皮半夏による認知機能改善と血中成分変化  
クラシエ製薬株式会社漢方研究所 藤田 日奈
- 223 改訂版ウェクスラー記憶検査の経時的変化によるコリンエステラーゼ阻害剤の効果の評価  
東京医科歯科大学脳神経病態学 伊藤 陽子
- 224 もの忘れ検診事業による MCI の把握と認知症の予防介入の取り組み  
医療法人社団宝樹会小豆島病院 大城 智睦
- <認知症の予防>
- 225 緑茶摂取と認知症・軽度認知障害の罹患リスク：なかじまプロジェクト  
金沢大学大学院医薬保健学総合研究科脳老化・神経病態学（神経内科学） 篠原もえ子
- 226 アルツハイマー病患者と介護者の食習慣の傾向と性差  
東京大学医学部附属病院 亀山 祐美
- 227 n-3 系脂肪酸摂取による高齢者向けの居住系介護施設等入居者の認知機能・情動への影響  
島根大学医学部環境生理学 橋本 道男
- 228 超高齢者における認知機能障害と動脈硬化危険因子の関連  
慶應義塾大学医学部百寿総合研究センター 新井 康通
- 229 物忘れ外来における「認知症と社会的環境の関係性」の分析 第二報 仮説検証  
横浜医療センター相談支援センター 高瀬 昌浩
- 230 地域在住高齢者における日常生活活動の検討  
鳥取大学医学部脳神経医科学講座脳神経内科学分野 和田 健二
- 231 タッチパネル式コンピューターを用いた認知症予防のためのシステム開発  
鳥取大学医学部附属病院 谷口美也子
- 232 高齢者の認知機能に対する音楽体操の効果：御浜・紀宝プロジェクト  
三重大学大学院医学系研究科認知症医療学 佐藤 正之
- <認知症全般（症候・診断）>
- 233 日常診療における構成障害評価法の比較検討  
独立行政法人地域医療機能推進機構東京高輪病院神経内科 津本 学
- 234 遂行機能検査（TMT）の成績は AD での低下が著明である（VITA 研究）  
京都光華女子大学健康科学部医療福祉学科 渡辺 俊之
- 235 Balint 症候群を呈した変性性認知症の一例  
信州大学医学部精神医学講座 荻原 朋美
- 236 東日本大震災の記憶と Mini-Mental State Examination（MMSE）の関連性の検討  
北福島医療センター神経内科 宗像 玲子

- 237 当院における非アルツハイマー型認知症（非 AD 型認知症）の診断の現状と問題点  
川口工業総合病院神経内科 松本 卓
- 238 先行する認知症を有し、発症 4.5 時間以内に搬送された脳梗塞患者の臨床的特徴  
翠清会梶川病院脳神経内科 大下 智彦
- 239 当院における認知症診療の現状と動向  
近江八幡市立総合医療センター神経内科 松尾 宏俊
- 240 メモリークリニックにおける迅速診療の必要性  
船橋市立医療センター 唐澤 秀治
- 241 e-learning を用いた医学部学生に対する認知症教育の試み  
東京大学大学院医学系研究科加齢医学講座 木棚 究
- 242 地域型認知症疾患医療センターに入院した認知症患者に認められる BPSD の実態  
筑波大学医学医療系 新井 哲明
- 243 NPI を指標とした入院長期化の予測因子に関する検討  
ミサトピア小倉病院 関口 裕孝
- <認知症全般（治療・リハビリテーション）>
- 244 BPSD 治療における老健の存在 — 少量薬物療法を通して見えてきたもの —  
医療法人社団秀慈会介護老人保健施設萩の里 萩原 覚也
- 245 認知症患者の不安・焦燥に対する、超長時間型抗不安薬「ロフラゼプ酸」の効果  
宇部リハビリテーション病院 沖野 基規
- 246 ツムラ抑肝散エキス顆粒（医療用）の副作用発現頻度調査  
株式会社ツムラ製品戦略本部製品情報部 久田 孝光
- 247 認知症スピード診断ツールを利用した薬効評価  
やすまクリニック 安間 芳秀
- 248 認知症重症度が歩行再獲得へ阻害因子となりうるか  
総合病院岡山赤十字病院リハビリテーション科 安藤 研介
- 249 高齢認知症患者に対する加圧トレーニングによる日常生活活動改善効果の検討  
医療法人社団正心会岡本石井病院 金原 賢児
- 250 デイ・サービスを楽しむアルツハイマー病患者は認知症の進行が遅い  
東京医科大学病院高齢診療科 久米 一誠
- 251 もの忘れ外来における認知症リハビリテーションの現状と効果  
弘前大学医学部神経内科 中畑 直子
- <認知症全般（介護）>
- 252 家族介護負担に影響する認知症患者の重症度および BPSD の縦断的検討  
熊本市こころの健康センター 長谷川典子
- 253 軽度アルツハイマー病患者の介護者の負担  
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科精神神経病態学 大宮 由紀
- 254 地域在住高齢者における火気取り扱いの危険度：栗原プロジェクト  
東北大学 CYRIC 高齢者高次脳医学研究部門 高田 純子

- 255 脳血管性病変を有する軽度認知機能障害と脳血管性認知症の総合機能評価における特徴  
杏林大学医学部高齢医学 小原 聡将
- 256 若年性認知症本人の体験をウェブページに  
東京理科大学薬学部健康心理学研究室 後藤 恵子
- 257 変性性認知症患者への告知および「人生の最終段階における医療」に関する意識調査  
榊原白鳳病院もの忘れ外来 笠間 睦
- 258 精神科病院において、非経口的な栄養摂取を継続的に受けている患者の現状 (1)  
河田病院 山下 龍子
- 259 精神科病院において、非経口的な栄養摂取を継続的に受けている患者の現状 (2)  
積善病院 近藤 啓子
- 260 老人保健施設における認知症のBPSD緊急対応短期入所の実態  
みつぐまち診療所 津野田尚子
- <認知症全般 (地域連携等)>
- 261 在宅指標ザイタックスの有用性および課題  
聖隷浜松病院神経内科 内山 剛
- 262 学齢期を対象にした認知症啓発活動の取り組み—千葉市認知症こども力プロジェクト—  
千葉大学医学部附属病院千葉市認知症疾患医療センター 平野 成樹
- 263 認知症と詐欺事件の被害者  
船橋市立医療センター 唐澤 秀治
- 264 早期に認知症外来を受診するのはどういった症例か—外来初診患者の検討—  
岩手医科大学神経内科・老年科 赤坂 博
- 265 物忘れを主訴として当科の外来を直接受診した患者と紹介患者の違い  
小牧市民病院脳神経外科 飯塚 宏
- 266 大学病院老年内科における認知症診療連携の推移  
名古屋大学大学院医学系研究科地域包括ケアシステム学寄附講座 鈴木 裕介
- 267 認知症疾患医療センター指定前後の認知症診療状況の変化について  
微風会三次神経内科クリニック花の里 織田 雅也
- 268 「認知症地域支援ネットワーク会議」の構築  
社会医療法人財団白十字会佐世保中央病院認知症疾患医療センター 川口さゆり
- 269 地域での医療介護の連携とネットワーク構築  
菊池中央病院脳神経外科 曾山 直宏
- 270 三重もの忘れネットワークにおける三重県認知症連携パスの導入と現状評価  
三重大学附属病院認知症センター 木田 博隆
- 271 KN式認知症ケアパス概念図ならびに情報共有シートを用いた事例検討の有用性  
京都大学大学院医学研究科臨床神経学 武地 一
- 272 長期に入院する認知症患者への退院支援の実態  
独立行政法人国立病院機構菊池病院臨床研究部 麦足 久美
- 273 家族会家族を対象とした認知症の人の身体疾患に対する医療に関する全国調査  
独立行政法人国立長寿医療研究センター 武田 章敬

274 全国の救急告示病院を対象とした認知症の人の身体疾患に対する医療に関する調査

独立行政法人国立長寿医療研究センター 武田 章敬